

ぼくせい

令和3年度 富士市立吉永第一小学校
一学校教育目標一 1月号
「あかるく やさしく たくましく」

新たな年を迎えて

校長 市川 典秀

今年、寅年です。十二支のうちの一つで、3番目の干支です。西暦年を12で割って6が余る年が寅年となります。「寅」は、元々は「蟻(いん)」という漢字が当てられていたそうです。この文字には、「動く」という意味があり、春が来て草木が生ずる状態を表しているとする状態を表した漢字ですが、覚えやすくするために、後に動物の「虎」が当てられたという説があります。

令和3年も新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、学校行事の見直しや日々の生活で気を付けることがたくさんありました。そのような中でも、子供たちにとって必要な学びや大切に育てていきたいことを全職員で一丸となって進めることができました。全国的には、感染者数の減少が見られますが、コロナウイルスが無くなったわけではありません。また、新しい変異株の情報も聞かれます。これからも、「手洗い・換気・ソーシャルディスタンス」に気を付けて安全安心な学校づくりを行っていきます。学校に対する、御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

令和3年度 重点目標 とどけるあいさつ やさしいことば



重点目標を「とどけるあいさつ やさしいことば」として子供たちと接し、9か月がたちました。12月に行った学校評価アンケートでは次のような結果が出ました。（「そう思う」・「どちらかと言えばそう思う」を合わせた数）

○「自分から挨拶できる」…子供(93%) 保護者(77%) 教職員(100%)

学校としては、95%を目標としていましたのでわずかに下回りましたが、昨年度からいる職員の感じ方では、子供たちが挨拶しようとする意識が向上してきているということでした。ただ、校内では、よく挨拶ができるようになっていますが、校外での挨拶にはまだ弱さがあるように感じています。

○「相手の気持ちを考えた優しい言葉遣いができる」

…子供(84%) 保護者(89%) 教職員(88%)

学校としての目標は、85%でしたので、こちらもわずかに下回りました。本年度は、優しい言葉遣いに対してより具体的に指導するために各教室で、学年初めに優しい言葉とそうでない言葉にはどんなものがあるか話し合いを行いました。その内容を各学級に掲示し、指導の必要があるたびに思い出させてきました。まだまだ、友達や教職員に心無い言葉を言ってしまう場面も見受けられます。残り3か月、今後も引き続いて指導していきたいと思っております。御家庭での御協力をお願いいたします。

3月までのこれからの学校は、それぞれの学年が次の学年に向かってジャンプできるように準備をしていきます。特に、6年生には胸を張って本校を卒業できるような子供にしていきたいと思っております。

本校ホームページにて学校の様子をお伝えしています。5月から、のべ2万3千人ほどの方に見ていただいています。お時間があるときにのぞいてみてください。（「富士市立吉永第一小学校」で検索できます。）